

## 第4学年 国語科学習指導案

平成29年4月26日（水）5校時

4年1組 男子10名 女子10名 計20名

授業者 渡邊 智徳

- 1 **単元名** ようこそ、中小祭へ！案内係はわたしです  
**教材名** 「案内係になろう」（東京書籍4年上）

### 2 単元の目標

- 図や資料から、相手が必要とする情報を取り出して案内することに意欲的に取り組もうとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 問い合わせに応じて資料から必要な事柄を見つけ、話す場面を意識しながら筋道を立てて丁寧な言葉で話すことができる。 (A 話す・聞く イ)
- 相手を見たり、間の取り方に注意して話したりすることができる。 (A 話す・聞く ウ)
- 案内するために必要な語句を増やし、理解して適切に使うことができる。 (言 イ (オ))

### 3 単元について

#### (1) 単元観

##### ①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領国語の第3学年及び第4学年「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「イ 相手や目的に応じて、理由や事柄などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。」を取り上げて指導する。

##### ②付けたい力へ向けての言語活動とその特徴

「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。」を具体化した『ようこそ、中小祭へ！案内係はわたしです』という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる『ようこそ、中小祭へ！案内係はわたしです』は、毎年本校が実施している中小祭の案内係となり、お客さんに分かりやすく話すという設定のもと、お客さんの質問に応じて、地図や表等の資料から読み取ったことをもとに案内するというものである。

今回「中小祭での案内」をゴールとして設定したのは、国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめ「4. 学習・指導の充実や教材の充実」の項において、国語科においては「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて子どもたちの学ぶ意欲が高まるよう、実社会や実生活との関わりを重視した学習課題として、子どもたちに身近な話題を取り上げることがあげられているからである。児童は、毎年催されている中小祭において実際につけた力を使うために、必要感を持ち、意欲的に取り組んでいくものと思われる。また今回、お客さんからの質問については、他校の児童や、地域の方、本校児童の保護者等、それぞれの立場の方を設定するようにした。それぞれの立場の方に話す時、相手が知りたいことをもとに、どのようなことを話すとよりよく相手に伝えることができるのか思考させ、表現させたい。「話すこと・聞くこと」の「話す」系統の単元であるが、ここでは資料から目的に応じて効果的に情報を得たり、自分の考えを持ったりすることが求められる。本教材は、案内用の資料を見て、お客さんの問い合わせに答えるために必要な情報を収集しなければならない。また相手の立場や視点に立ち、丁寧な言葉遣いで答える必要

もある。相手の質問の意図を正しく捉え、資料から読み取ったことを筋道立てて話す力を身に付けることを目指したい。

## (2) 児童観

児童は、3年生時5月に『話したいな、うれしかったこと』という単元で、うれしかったことについてスピーチをしたり友達のスピーチを聞いたりする活動を経験している。自分の考えを文章で書くことはできるが、発表の声の大きさや話すときの一文の長さ等、聞き手を意識した話し方についてはこれから身に付ける必要がある。作年度2月に行ったCRTでは、「話すこと・聞くこと」の領域において、通過率80.5（全国平均78.3）で、全国値を上回っていた。小領域で見ると、「目的に応じて適切に話すこと」において通過率74.4（全国平均71.8）で、小領域別に見ても全国値を上回っていた。しかしながら個人成績を見ると、他の領域に比べて個人差が大きく、約半数の児童が全国値を下回っていた。朝や帰りの会でのスピーチでは、テーマに沿って話したり質問したりしているが、質問する児童が固定化している傾向があり、相手意識の面でも弱さが見られる。また、本校の全国学力・学習状況調査の傾向として、選択式の問題にも弱さが見られることから、言葉を吟味しながら複数解から最善解に向けて、自分の考えや表現の仕方を自己や友だちとの対話を通して、問い直す場も意図的に設定する必要がある。

## (3) 指導観

第一次では、中小祭の案内係をするという学習課題をつかみ、「案内係」になるための今後の学習を「入門編・チャレンジ編・一人前編」と名付けて見通しをもたせ、興味もてるような導入とする。また、既習を用いて問い合わせの答えを考えさせることで、P.43「案内係用の資料」の必然性と、P.44の話例に書かれている答え方が意識できるようにしたい。

第二次では、「チャレンジ編」として、どのように話したらお客さんの問い合わせに答えられるかを考える。質問を聞くときには、相手の質問の目的に気を付けて聞き、質問の答えや補足情報を話す必要があることにも気付かせたい。この際、「いつ」「どこ」「何」等の言葉に気を付けて、相手の質問を正しく聞き取ることや、話すときは相手の反応を確かめながら筋道をたてて丁寧な言葉で話すことを意識できるようにしたい。また、場所を案内するときに使う言葉は、教室の場所や校庭の遊具を案内させたり、言葉に合わせて身体を動かしたりする体験を通して理解を図るようにする。問い合わせの答えを自分で考え文章化することはもとより（自己との対話）、友だちと吟味させる（他者との対話）対話的な学びを通して、より分かりやすく伝える価値について気付かせたり、本時での原稿を見ずに話しくまくだんかどうか再考させたりすることで深い学びへつなげていきたい。

第三次では、「一人前編」とし、第二次までについた力を生かし、中小祭の資料をもとに案内役とお客さん役で案内し合うようにする。その際、「いつ」「どこ」「何」等の言葉に気を付けて相手の質問を正しく聞き取り、二次までの既習を使ってお客さんの知りたいことに合った内容を筋道を立て、丁寧に分かりやすく話すように気を付けさせる。また、単元全体の振り返りでは、問い合わせに応じて資料から必要なことを見つけ、相手の立場に立って分かりやすく案内ができたか自分の話したことを文章に起こして振り返るとともに、第一次で書いた案内文と比較させることで、本単元で付いた力を明確に実感できるようにする。

児童が興味をもって取り組めるように単元の目標を『ようこそ、中小祭へ！案内係はわたしです』としながらも、児童のめあてと教師のねらいは違うことを念頭に置いて、相手の質問の目的を正しく捉え、資料から読み取ったことを筋道立てて説明することを学習し、日常生活でも進んで活用できるように話す・聞く力を身に付けさせたい。

# つきたい力に向けた言語活動

図表から読み取ったことをもとに相手の立場を考えて案内する

## 児童の実態

- 自分の考えを文章で書くことはできるが、質問に応じて必要な情報を入れて話すことに課題がある。
- 筋道を立てて、簡潔に話すことに弱さが見られる。
- 何を聞きとらないといけないか注意して聴くことが弱い。

## 単元の評価規準

- 《国語への関心・意欲・態度》
- ①図や資料から、相手が必要とする情報を取り出して案内することに意欲的に取り組もうとすることができる。 【関心・意欲・態度】
- 《話す・聞く能力》
- ①問い合わせに応じて資料から必要な事柄を見つけ、話す場面を意識しながら筋道を立てて丁寧な言葉で話すことができる。【A (1) イ】
- ②相手を見たり、間の取り方に注意して話したりすることができる。 【A (1) ウ】
- 《言語についての知識・理解・技能》
- ①案内するために必要な語句を増やし、理解して適切に使うことができる。 【言イ (オ)】

## 本単元で児童につきたい力

- 問い合わせに応じて資料から必要な事柄を見つけ、話す場面を意識しながら筋道を立てて丁寧な言葉で話す力 【A (1) イ】
- 相手を見たり、間の取り方に注意したりする力 【A (1) ウ】

第一次① (導入)

### 学習の流れと評価計画 (全5時間)

主体的な学び

- 学習のねらいをつかみ、見通しを持つ。(1) 【関①】
- ・中小祭の案内係をするというゴールを確認し、意欲を持つ。
- ・既習を使い、問い合わせの答えを考える。

対話的な学び

深い学び

- お客さんの質問に応じて、筋道を立て伝えるための話し方を考える。(3) 【話聞①】
- ・問い合わせをもとに、質問を聞く時に気を付けること、話す時に気を付けることを考える。
- ・場所を案内する時に必要な言葉を知り、意味や使い方を理解して案内するための原稿を書く。 【話聞①】【言①】

### 本時

- ・案内係とお客さんになって案内をしあい、相手によりよく伝わるための話し方を考える。 【話聞①】【話聞②】

対話的な学び

深い学び

- 中小祭で、いろいろな立場のお客さんに案内をする。(1) 【関①】【話聞①】【話聞②】
- ・お客さんと案内係に分かれて案内しあい、分かりやすい案内だったのかどうか、評価し合って文章に起こし振り返る。

第二次③ (展開)

第三次① (発展)

並行読書 (なし)

## 評価規準

### B 概ね満足できる状況

- ◆相手が知りたいことに応じて、「場所を案内するときに使う言葉」等を使いながら筋道を立てて丁寧な言葉で話すことができたことを振り返りに書いている。(一つの事柄を入れて案内)

レストランの他に食事ができるところを教える時に、「わたしたちをせにして」という、案内する時に使う言葉を使ったら〇〇くんに分かりやすく伝えることができました。話タイムで〇〇くんに教えてもらったことを次の時間に生かしたいです。

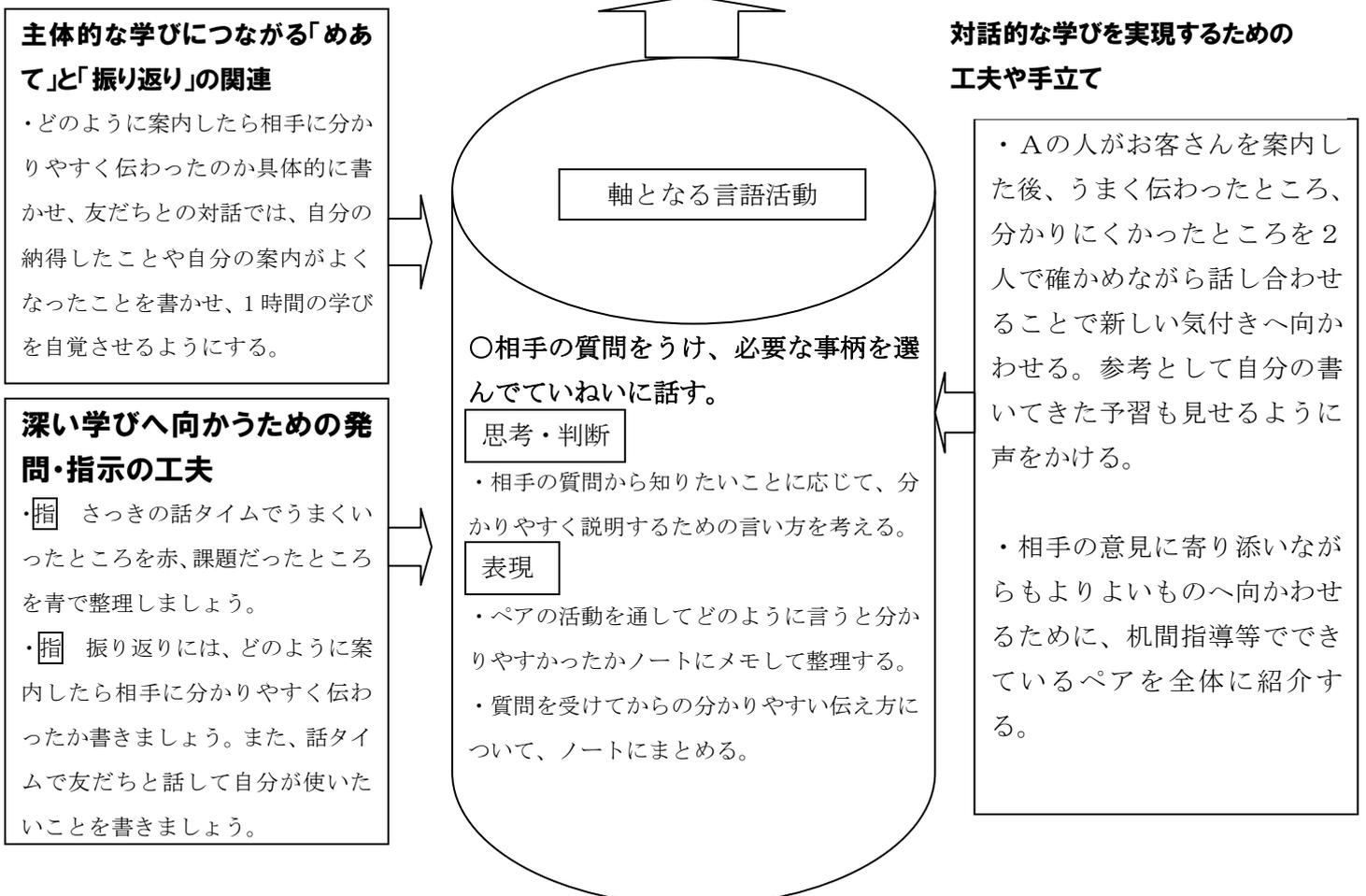
### A 十分満足できる状況

- ◆相手が知りたいことに合った答えを、「場所を案内するときに使う言葉」等を使い筋道を立てて話すことができたことに加え、さらに補足する情報も加えながら話すことができたことが振り返りに書いている。(二つ以上の事柄を入れて案内)

レストランの他に食事ができるところを教える時に、「わたしたちをせにして」という、案内する時に使う言葉を使ったら〇〇くんに分かりやすく伝えることができました。これにつけて、売店で食べ物を買えることを教えてあげることもできました。話タイムで二人でもっと分かりやすい言葉を考えてのが楽しかったです。

## 本時における研究テーマとのかかわり

**相手の質問から知りたいことをつかみ、分かりやすい説明の仕方を考え、筋道を立てて話す力**



## 8 本時の学習（1／5）

### 第一次 1時間目

(1) 目標 単元のためあてをつかみ、今後の学習を見通して図や資料から相手が必要とする資料を取り出して案内することに意欲的に取り組もうとすることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な指示 <sup>指</sup> 、主な発問 <sup>発</sup>
見 通 し	<p>1. 本時の課題をつかむ。 今年赴任してきた先生からの話を聞く。</p> <p>2. 学習の見通しを持つ。 めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     これからの学習を見通し、つきたい力をはっきりとさせよう。                 </div> <p>3. 教科書 42 ページを音読する。</p>	<p>○今年赴任してきた先生からの要請を明確にさせ、今回つきたい力を確認する。</p> <p>○学習の流れを掲示し、ゴールを確認する。 ・入門編・チャレンジ編・一人前編</p>
考 え る	<p>4. ペンギンのえさやりの場所を説明し合う。 (1) 2人でペアになって、説明し合い、本当にその場所までいけるかどうかやってみる。 【ペア】 (2) 実際に通りがかりの先生を案内する。 【全体】</p> <p>5. うまくいかなかったわけについて考え、まとめる。→ノート 【個人】</p> <p>6. うまく伝わらなかったところを出し合い、今後つけていくべき力について確認し合う。 【全体】</p>	<p>○案内係とお客さんの場所や顔の方向を確認したうえで、ペアに入るようにする。 ※</p> <p>○簡単にできたという自信をもたせておいて、わざと通りかかった先生に声をかける。 【関心・意欲・態度①】（発言、行動）</p> <p><sup>発</sup> 「どんなところがうまくいかなかったのかをはっきりさせて、ノートにかきましょう。」 ※うまくいかなかったことに気付いていない児童には先生に伝わったのかどうか個別に尋ね、理由を聞くことでノートに書くきっかけとする。</p>
振 り 返 り	<p>7. 今日の振り返りを書く。 ・代表で発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>家庭学習 教科書 42 ページから 44 ページを音読し、森さんの答え方と自分たちの説明を比べて、違いを二つ以上、国語ノートに書いてくる。</p> </div>	<p><sup>指</sup> 今日の説明をしてみて、今の自分にはどんな力が必要と思ったのか書きましょう。友だちと説明し合ったことであるほどと思ったことも書きましょう。</p> <p>☆今後の学習を見通して、図や資料から相手が必要とする資料を取り出して案内することに意欲的に取り組もうとすることができる 【関心・意欲・態度①】 (ノート、発言)</p>



## 8 本時の学習（3／5）

### 第二次 2時間目

(1) 目標 相手が知りたいことを考えて、案内する事柄を整理し、丁寧な言葉遣いで分かりやすく話すことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な指示 <sup>指</sup> 、主な発問 <sup>発</sup>
見 通 し	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時の学習のめあてを確認する。 めあて	○前回の振り返りを紹介して、本時の授業への意識付けとする。
	場所を案内するために必要な言葉を集めて、使えるようになろう。	
考 え る	3. 場所を案内する時に使う言葉を出し合う。 (1) 昨日の予習の文章の中から場所を案内する時に使う言葉に印をつける。【個人】 (2) 場所を案内する時に使う言葉について確認し合う。 【個人】 → 【全体】 ・～からみて      ・まっすぐ ・～に向かって      ・角を曲がって ・～にそって      ・正面 ・～を背にして      ・向かい側 4. ラッコの水槽まで案内する原稿を書く。 【個人】 (1) ペアで今日の学びをもとに書けているか確かめあう。 【ペア】	○実際に体を動かして確かめ、ノートに記録させていく。 ☆案内するために必要な語句を増やし、それぞれの意味を理解して使っている。 【言①】(ノート、発言) ※書く作業が止まっている児童には昨日の予習の記述や板書を参考にさせて書くよう声をかけ、個別に支援する。 <sup>指</sup> 場所を案内する時に使う言葉に赤鉛筆で印をつけ、これまでの学習を使って書くことができるのか確かめましょう。 ☆場所を案内する言葉を使う、丁寧な言葉を選ぶなど、工夫して原稿を書いている。 【話聞①】(ノート、発言)
振 り 返 り	4. 今日の振り返りを書く。 ・○○くんの～という言葉が、場所を表すのにぴったりでした。それに、はじめに相手を知りたいことを確かめているのがよかったです。 【個人】 → 【全体】	<sup>指</sup> 振り返りには、相手の質問に応えるためにどんなコツをつかんだのかをはっきりとさせて書きましょう。 ○次時の予告をする。
	家庭学習 教科書P43を見て、お客さんになったつもりで案内係にききたいことを二つ以上書いてくる。答え方も自分が思う正答を書いてくる。	

## 8 本時の学習（4／5）

### 第二次 3時間目

(1) 目標 相手が知りたいことを考えて、案内する事柄を整理し、丁寧な言葉遣いで筋道を立てて話すことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な指示 <b>指</b> 、主な発問 <b>発</b>
見 通 し	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時の学習のめあてを確認する。 めあて	○前回の振り返りを紹介して、本時の授業への意識付けとする。
	相手の立場に立って、分かりやすく案内する方法を考えよう	
深 め る	3. 予習をもとに案内係とお客さんになって案内をし合う。 (1) 予習で考えてきた質問を出し合う。 【ペア】 (2) 案内係とお客さんになって、案内をしあう。 【ペア】→【個人】 ・1回目の案内をする (A) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">メモ</span> ・話タイム ・ペアの話タイムからどのように言うと分かりやすかったのかノートに整理する。 ・2回目の案内をする (B) ・話タイム ・ペアの話タイムからどのように言うと分かりやすかったのかノートに整理する。	○数人の児童の質問を出させて、何を聞かれているのか確認し合う。 <b>指</b> Aの人がお客さんを案内した後は、うまく伝わったところ、分かりにくかったところをはっきりさせてより分かりやすく話ができるようにします。参考として自分の書いてきた模範案内も見せながら説明してください。 <b>指</b> さっきの話タイムでうまくいったところを赤、課題だったところを青鉛筆で整理しましょう。(短い言葉、矢印などを使うように) ☆相手が知りたいことを考えて、案内する事柄を整理し、丁寧な言葉づかいで筋道を立てて話している。【話聞①】(ノート、発言) ※分かりやすかったと言われた言葉を尋ね、ノートに短く書かせて、その後伝わりにくかった言葉についても同様に尋ね、整理できるように支援する。
広 げ る	4. 相手が知りたいことを分かりやすく案内するための工夫を全体で確認する。【全体】	
振 り 返 り	5. 今日の振り返りを書く。 ・まず、質問を確かめておいて、何を知りたいかはっきりさせてから答えると分かりやすかったです。○○くんがお得情報も入れたらいいよと教えてくれたので～を入れました。 【個人】→【全体】	<b>指</b> 振り返りには、今日のめあてと関連して、どのように案内したら相手に分かりやすく伝わったか書きましょう。また、友だちとの話タイムで自分の納得したことや、次に自分が使いたいことを書きましょう。  ○次時の予告をする。
	家庭学習 中小祭の地図を見て、自分で質問をつくり、案内する原稿を書いてくる。	

## 8 本時の学習（5／5）

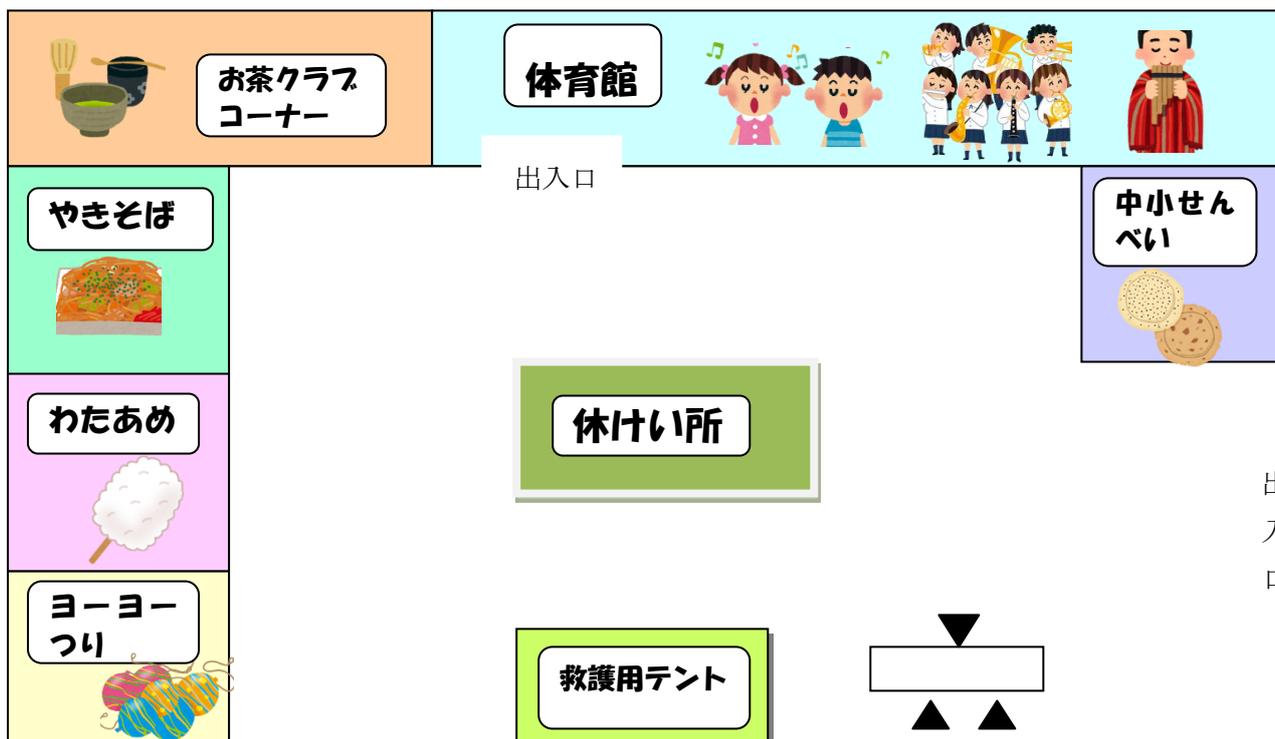
### 第三次 1時間目

(1) 目標 中小祭で案内することを意識し、いろいろな立場の方の質問の目的に応じて、筋道を立て内容を明確にして話すことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な指示 <b>指</b> 、主な発問 <b>発</b>
見 通 し	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時の学習のめあてを確認する。 めあて	○「一人前」としての時間であることを確認し、仕上げの時間へ向けての意欲化を図る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     中小祭でいろいろな立場のお客さんを案内しよう。                 </div>	
深 め る	3. 案内係としていろいろな立場のお客さんを案内する。 (1) 案内係とお客さんになって、案内をしあう。 <b>【ペア】→【個人】</b> ・それぞれの立場のお客さんの質問にそって案内する (①～③を交代して行う) ①案内をする ②話タイム ③ペアの話タイムからどのように言うのと分かりやすかったのかノートに整理する。	<b>指</b> Aの人がお客さんを案内した後は、昨日と同様にうまく伝わったところ、分かりにくかったところをはっきりさせてより分かりやすく話ができるようにしましょう。 <b>指</b> さっきの話タイムでうまくいったところを赤、課題だったところを青鉛筆で整理しましょう。(短い言葉、矢印などを使うように) ☆相手が知りたいことを考えて、案内する事柄を整理し、丁寧な言葉づかいで筋道を立てて話している。 <b>【話聞①】</b> (ノート、発言)
広 げ る	4. 中小祭の案内について心に残った案内の仕方を共有する。 <b>【全体】</b> ・話タイムをもとにこれまで付けた力を使って、より分かりやすい案内を原稿に起こして残す。 <b>【個人(自己との対話)】</b>	※分かりやすかったと言われた言葉を尋ね、文脈をつくっていくように声をかけながら、個別に支援する。
振 り 返 り	5. 単元をふりかえる。 ・相手が質問したことについて筋道をたてて案内する力がつきました。でも他の情報は付けられないことがあるので、付け足して教えてあげられるようになりたいです。 <b>【個人】→【全体】</b>	<b>指</b> 振り返りには、これまで5時間学習してきた自分についた力と、これはもうちょっとがんばることだな、と思うことを書きましょう。 ○振り返りをいくつか紹介する。
	家庭学習 この力をどういう時に活用することができるか考えて、「～〇〇に…を案内することができるようになった」と3つ以上書いてくる。	

# 中小祭 案内係 資料



## 【えんそうとお茶クラブコーナーの時間】

### 【えんそう(1回 10分)】

	1回目	2回目	3回目
中村中学校	1 : 00	1 : 20	
手作り楽器		1 : 30	
中村小学校 合唱部	1 : 10	1 : 40	☆

- ・えんそう中は、けいたい電話をマナーモードか、電源を切る。
- ・こんでいる時は、立ち見になることがある。
- ・☆はアンコールがあれば、もう一度行うことがある。

### 【お茶クラブコーナー(1回 25分間)】

	1回目	2回目	3回目
野点 (和がしつき)	2 : 05	2 : 35	3 : 05

※野点 (のだて) …お茶をたてること

- 売店 (えんそうが終わってから、利用することができる。)
- ゲームコーナー (ヨーヨーつりがある。1回50円)
- 休憩所 (売店で買ったものを食べられる。)

## 加藤先生からのお困り相談

### 覚え書き

- ・ あいさつ
- ・ 楽しみにしている1年の行事について→中小祭
- ・ ぜひ参加したいが、一つ心配なことがある。→中小祭を楽しむことができるかどうか…
- ・ 家族もつれてきたいけれど、ずっとついておくわけにいかないから、家族がちゃんとまわることができるかも心配
- ・ そこで、4年生に折り入ってお願いが…
- ・ 中小祭で、だれにあっても案内ができるようになってほしい。

## 中小祭

### 問い合わせ一覧

○やきそばコーナーへ行きたいのですが、どのように行けばいいですか。(本校児童)

○合唱部の演奏をはじめから聞きたいのですが、何時頃行ったらいいですか？  
(本校保護者 PM1:15)

○演奏を聞いて、食べ物を買って、2:30までに出たいのですが、おすすめのプランを教えてください。  
(地域の人) (1:15)

○お茶クラブのコーナーのほかに、飲食できる場所はありますか。  
(他校の児童) (2:00)